



ハンノキ (カバノキ科)

湿地を好む落葉木で、芝谷地にはたくさん自生しています。
この写真は2月初め、雪の後の朝に撮っていただいたものです。
この時期、ほかの木々はまだ眠っているかのように見えますが、ハンノキの尾状の花穂はプルプル揺れて目を引きまします。
葉の出る前の4月の末ごろ、長くなった穂の雄花から花粉を風に散らします。

この木の幹はまっすぐに伸びます。それを利用して稲干しするため、新潟県辺りでは田の畦に列を成して植えていて、変わった田園風景が印象深かったものです。しかし、稲の自然乾燥が少なくなるにつれ、好きだった風景も消えてしまいつつあります。

文・菅原キサ 写真・山田政一

編集後記

□突然ですが、以前あるかたから「大館には見るところが何もない」といわれたことがあります。本当にそうでしょうか。大館は、文化財の多さでは県内有数の街です。また、自然の美しさも誇れるものではないでしょうか。一度、ゆっくり大館を探検してみたいいかがでしょうか。
(ま)

□もうすぐ春休み。子供たちは外に出て遊びたがります。今回掲載したように「水難事故」に対する注意が必要ですが、交通事故も忘れてはなりません。道路の雪が消え、車もスピードが出ています。事故に遭わないよう子供に注意するとともに、運転するかたもスピードを抑え安全運転に心掛けてください。(咲)
□先日、今年度の広報市民リポーターの皆さんと「お別れ会」を開きました。三月にお別れは付き物とはいえ、縁があつて知り合えた「仲間」が解散してしまうというのは、やはり寂しいものです。市役所ももうすぐ異動期。広報スタッフの三人にもメンバーチェンジが行われる可能性は高い…かも?
(ゆ)

♥ 広報おおだて 平成9年3月16日号(No673)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

♥ 広報おおだては再生紙を使用しています。